

ぬしまちくまつり 沼島地区の祭り

所在地：南あわじ市 沼島



船着場で颯爽とかけられるだんじり



神社前に集うだんじりと神輿



沼島八幡神社

沼島八幡神社では、海上安全と豊漁を祈願し、毎年5月3日、4日に春祭りが行われます。祭りが最高潮に達したとき、だんじりが海へ飛び込む沼島水軍を彷彿させる勇壮な祭りです。以前は、だんじりや神輿が通ることができる道が無く、ほとんどを海の中をかいたため、旧暦5月3日、4日の大潮の際に行われていました。

沼島八幡神社は、永享8年(1436)に梶原俊景が創建したと伝えられ、かつては水軍の拠点でした。境内には、昔から海を生活のよりどころとしてきた沼島の生活を伺うことができる絵馬や、全国的にも珍しい逆羅針盤が天井に奉納されています。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから、県道31号線、県道76号線を南下し、土生港へ。土生港から船で5分、沼島港。沼島港から徒歩で5分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図